

I. 連結決算の概要

1. 当中間期の業績

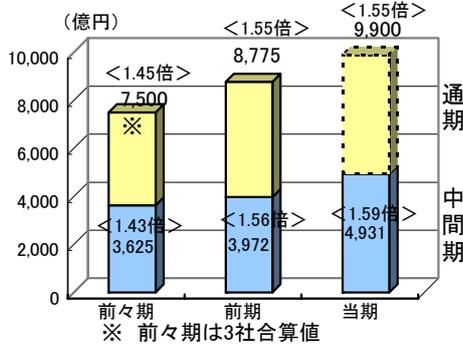
(単位:億円, %, ( )は売上高比率)

	当中間期 (18.4.1~18.9.30)	前中間期 (17.4.1~17.9.30)	増減額	増減率	通期予想 (18.4.1~19.3.31)	対前期 増減率
売上高	(100.0) 4,931	(100.0) 3,972	958	24.1	(100.0) 9,900	12.8
営業利益	( 3.8 ) 186	( 3.0 ) 118	67	56.8	( 3.8 ) 380	12.5
経常利益	( 4.2 ) 204	( 3.5 ) 140	63	45.3	( 4.0 ) 400	5.7
特別損益	※ 9	-	9	-	9	-
中間(当期)純利益	( 2.4 ) 120	( 1.9 ) 74	45	60.5	( 2.2 ) 220	3.8
1株当たり中間(当期)純利益	64円15銭	39円97銭			117円52銭	
自己資本当期純利益率	* 17.4%	* 13.2%	*は12カ月換算		15.5%	
設備投資	213	212	0	0.3	510	1.0
減価償却費	138	95	43	45.3	270	26.5
連結子会社数	70社	66社	4社		70社	3社
持分法適用関連会社数	12社	13社	△1社		12社	△1社

※ 特別利益 : 米国子会社の健康保険料返戻金 840百万円、 固定資産売却益 99百万円

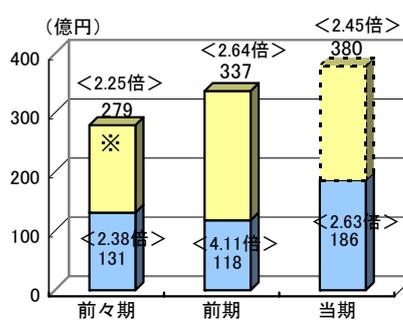
2. 売上高の推移

< >内は連単倍率



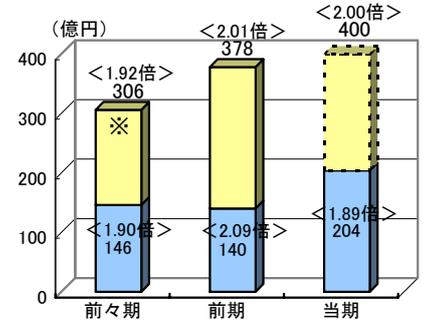
3. 営業利益の推移

< >内は連単倍率



4. 経常利益の推移

< >内は連単倍率



5. 売上高の内訳

(単位:億円, %, ( )は構成比率)

		当中間期 (18.4.1~18.9.30)	前中間期 (17.4.1~17.9.30)	増減額	増減率	通期予想 (18.4.1~19.3.31)	対前期 増減率
内装品	組替後 <組替前>	( 89.7 ) 4,424	( 88.3 ) 3,506	917	26.2	( 89.8 ) 8,890	13.7
フィルター・ パートレイン部品	組替後 <組替前>	( 7.2 ) 354	( 8.2 ) 326	27	8.4	( 7.0 ) 690	0.9
繊維・外装品他	組替後 <組替前>	( 3.1 ) 153	( 3.5 ) 139	13	9.5	( 3.2 ) 320	17.2
合計		( 100.0 ) 4,931	( 100.0 ) 3,972	958	24.1	( 100.0 ) 9,900	12.8

(注) 当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしております。

6. 経常利益の増減要因[対前中間期比較]

(単位:億円)

要 因	金額
増益	
・増産増収の影響	135
・合理化	82
・為替換算差益	9
計	226
減益	
・製品価格変動の影響	56
・労務費の増加	22
・製品構成の変化	20
・減価償却費の増加	15
・諸経費の増加	18
・新規連結子会社の影響	28
・営業外収支の減少	4
計	163
差引経常利益の増加	63

7. 貸借対照表[対前期末比較]

(単位:億円)

資産の部				負債・純資産の部			
科 目	当中間期	前期末	増減	科 目	当中間期	前期末	増減
流動資産	2,236	2,206	30	流動負債	1,992	1,987	4
現金預金	374	381	△6	買入債務	1,356	1,370	△14
売上債権	1,357	1,334	23	短期借入金	204	196	8
有価証券	13	17	△3	その他	432	420	11
棚卸資産	270	253	17	固定負債	304	313	△9
その他	220	220	△0	長期借入金	71	72	△1
固定資産	1,827	1,760	66	退職給付引当金	197	195	2
有形固定資産	1,524	1,456	67	その他	35	45	△9
無形固定資産	33	36	△3	(負債計)	2,297	2,301	△4
投資その他の資産	268	266	2	少数株主持分	-	332	△332
				株主資本	1,402	1,304	97
				資本金	84	84	-
				資本剰余金	90	90	0
				利益剰余金他	1,228	1,130	97
				評価・換算差額等	15	28	△13
				新株予約権	0	-	0
				少数株主持分	349	-	349
				(純資産計)	1,766	1,332	434
合計	4,063	3,966	97	合計	4,063	3,966	97

## II. 単独決算の概要

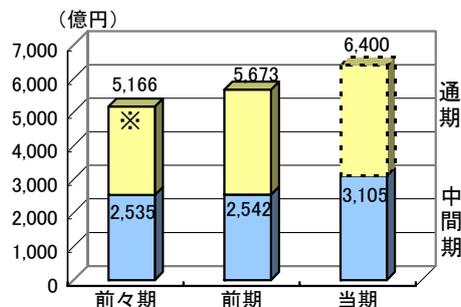
### 1. 当中間期の業績

(単位:億円, %, ( )は売上高比率)

	当中間期 (18.4.1~18.9.30)	前中間期 (17.4.1~17.9.30)	増減額	増減率	通期予想 (18.4.1~19.3.31)	対前期 増減率
売上高	( 100.0 ) 3,105	( 100.0 ) 2,542	563	22.1	( 100.0 ) 6,400	12.8
営業利益	( 2.3 ) 71	( 1.1 ) 28	42	145.6	( 2.4 ) 155	21.0
経常利益	( 3.5 ) 108	( 2.7 ) 67	41	61.1	( 3.1 ) 200	6.1
特別損益	※ 0	-	0	-	0	-
中間(当期)純利益	( 2.7 ) 83	( 2.3 ) 57	25	43.6	( 2.3 ) 145	9.2
1株当たり中間(当期)純利益	44円48銭	30円97銭			77円45銭	
自己資本当期純利益率	* 15.8%	* 12.4%	*は12カ月換算		13.4%	
1株当たり配当金	9円00銭	7円00銭	2円増配		18円00銭	2円増配
配当性向	20.2%	22.6%			23.2%	
設備投資	76	90	△ 14	△ 15.5	200	13.3
減価償却費	59	54	4	8.9	135	10.4

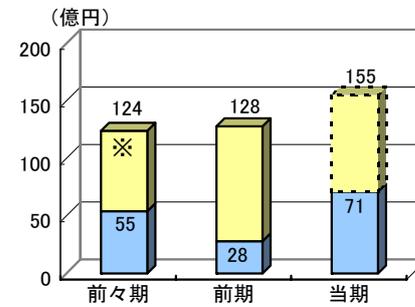
※ 特別利益 : 固定資産売却益 99百万円

### 2. 売上高の推移

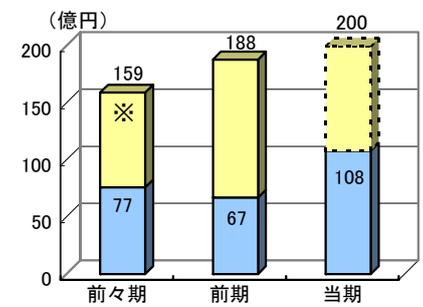


※ 前々期は3社合算値

### 3. 営業利益の推移



### 4. 経常利益の推移



### 5. 売上高の内訳

(単位:億円, %, ( )は構成比率)

	当中間期 (18.4.1~18.9.30)	前中間期 (17.4.1~17.9.30)	増減額	増減率	通期予想 (18.4.1~19.3.31)	対前期 増減率
内装品	( 89.4 ) 2,776	( 87.8 ) 2,232	544	24.4	( 89.7 ) 5,740	14.1
フィルター・ パートレイン部品	( 7.1 ) 219	( 8.3 ) 210	9	4.3	( 6.9 ) 440	2.1
繊維・外装品他	( 3.5 ) 109	( 3.9 ) 99	9	9.4	( 3.4 ) 220	4.0
合計	( 100.0 ) 3,105	( 100.0 ) 2,542	563	22.1	( 100.0 ) 6,400	12.8

(注) 当期より内部管理上の区分を改めたことに伴い、一部の製品(シートベルト、エアバッグ基布・袋体等)について区分の組替をしております。

### 6. 経常利益の増減要因[対前中間期比較]

(単位:億円)

要因	金額
増益	
・増産増収の影響	71
・合理化	49
計	120
減益	
・製品価格変動の影響	41
・製品構成の変化	20
・労務費の増加	10
・減価償却費の増加ほか	7
・営業外収支の減少	1
計	79
差引経常利益の増加	41

### 7. 貸借対照表[対前期末比較]

(単位:億円)

資産の部				負債・純資産の部			
科目	当中間期	前期末	増減	科目	当中間期	前期末	増減
流動資産	1,223	1,257	△ 33	流動負債	1,215	1,265	△ 49
現金預金	40	84	△ 43	買入債務	975	1,013	△ 38
売上債権	891	902	△ 11	その他	240	251	△ 11
有価証券	9	11	△ 2	固定負債	252	258	△ 5
棚卸資産	116	102	13	長期借入金	50	56	△ 6
その他	165	155	10	退職給付引当金	183	182	1
固定資産	1,335	1,296	39	その他	18	19	△ 1
有形固定資産	716	703	12	(負債計)	1,467	1,523	△ 55
無形固定資産	3	3	△ 0	株主資本	1,071	1,009	62
投資その他の資産	616	589	26	資本金	84	84	-
				資本剰余金	90	90	0
				利益剰余金	901	837	64
				自己株式	△ 4	△ 2	△ 2
				評価・換算差額等	18	20	△ 1
				新株予約権	0	-	0
				(純資産計)	1,090	1,029	60
合計	2,558	2,553	5	合計	2,558	2,553	5